

# 令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

## 建築部長

にしだ ひろゆき  
西田 博行



## 私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

近年の大型台風や大雨による被害の多発、そして南海トラフによる地震発生率が高まる中、本市においても災害に備えた建築物の安全・安心化が求められております。一方、世界的な共通目標であるSDGsにつきましても、特に「包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。」目標11につきましても、建築部として積極的に取り組まなければならない項目であると考えております。

そこで建築部と致しましては、市民や事業主の皆さまをはじめ、関係する方々と協働しながら安全・安心のまちづくりを推し進めるために、東大阪市第3次総合計画のスタートである令和3年度は、重点施策を含め「快適で魅力あふれる都市空間の創出」「良好な環境の維持」「危機や災害に強く安心して暮らせるまちづくりの推進」をめざし、次の業務を積極的に進めてまいります。

まず市営住宅を含む市有建築物につきましては、快適で安全な整備を進めるために、耐震化を促進するとともに、維持管理、保全の効率化を図ります。

続いて民間住宅につきましては、木造住宅の耐震化を進めるために、東大阪市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、自治会や建築士と連携した周知・啓発活動を行います。そして近年大きな社会問題となっている空き家対策につきましては、空き家の所有者特定を徹底し、適正管理の助言・指導を行うとともに、特に周辺に悪影響を及ぼしている「特定空家等」や「不良住宅」に該当する危険な空き家に対しては、解体補助による自主的な解体を含め、積極的な指導を行います。また老朽化した木造賃貸住宅等が集積する若江・岩田・瓜生堂地区におきましては、老朽木造賃貸住宅の除却や防災道路の整備を通じ、安全・安心のまちづくりを進めます。

第3次総合計画で「市の中心拠点」として位置付けられた長田・荒本駅周辺エリアにつきましては、調査・検討を行いながら基本構想としてまとめ、これからのまちづくりに展開していきます。またテレワークなど新たな働き方が全国的に広がる中、郊外においても新たな働く場の需要が高まっていることから、布施駅前ヴェル・ノール布施の空きスペースを活用した郊外型シェアオフィスの整備を支援することで、その需要に応えるとともに、布施駅周辺に新たな人の流れを生み出してまいります。